

11年度国内研一覽

学部	資格	氏名	期間	主たる研究先	研究目的
文	教授	尾崎ムゲン	11.4.1～ 12.3.31	国立国会図書館、国立古文書館、成城大学附属図書館、東京大学法学部明治新聞雑誌文庫、日本大学文理学部教育学科佐藤秀夫教授研究室、京都大学教育学部、総合人間学部	ここ数年にわたり、1910年代から1920年代の日本の教育政策の形成過程の研究に従事してきましたが、議会を中心とした教育に関する議論や決議と行政施策の対応関係あるいは、議会の議論の前提となる世論の動向など、大筋について見通しを得るに至りました。そこで、この時期の関連資料をさらに補充・整理し、集中的に大系化したいと考えます。そして、それらの基礎作業の上に、「明治末年・大正初年における日本の教育改革の動向ー教育の現代化ー」（仮題）という論文を作成したく考えています。
	教授	田中 登	11.4.1～ 12.3.31	関西大学図書館、古筆学研究所（東京）、冷泉家時雨亭文庫（京都）	中古文学を書写内容とする古筆資料（原物及び写真複製）を調査し、その資料的価値について研究する。
	助教授	秋元 秀紀	11.4.1～ 12.3.31	自宅、関西大学図書館、個人研究室、大阪外国語大学、神戸女学院大学、関西外国語大学、立命館大学、同志社大学、ノートルダム清心女子大学、上智大学、青山学院女子短期大学、津田塾大学、明治大学、北海道大学、宮崎大学、その他附属図書館	現在、アメリカ文学史・文化史において、その重要性が見過ごされている20世紀前半の小雑誌運動とそこから生まれた「ニューヨーク知識人」グループに関して、1992年より一連の論文を執筆・継続的に発表してきた。それを改訂・加筆して一冊の著書の形にまとめて、発刊準備するために、集中的に関連研究者との討議と資料収集及び資料処理と考察・執筆を行う。

※人数枠は、全学で3名以内

(注) 研究者の氏名及び資格は、いずれも平成11年4月1日現在のものです。